



The 8th General Conference  
of EASTICA & Seminar  
2007, 10, Tokyo

## EASTICA 第8回総会

東京（日本）2007年10月23日

### 決 議

- 1) EASTICA は、2006 - 2007年に行われた EASTICA のプログラムおよび諸活動の進展と成功を喜び、全会員の支援と協力に感謝の意を表する。
- 2) EASTICA は、第8回総会において2007年から2011年までの4年間の任期を務める新しい運営チームを選出した。直ちに発足した新メンバーは次の通りである。

議 長：菊池光興（国立公文書館）

副 議 長：Yang Dongquan（中華人民共和国国家档案局）

会 計 係：Lee Sangmin（韓国）

事務局長：Simon F. K. Chu（香港政府档案処歴史档案館）

理事会メンバー：(1) Cho Yoon-myong（韓国国立公文書館）

(2) Ulziibaatar Demberel（モンゴル国立公文書館）

(3) Marie I. MacLeod（マカオ歴史档案館）

- 3) 香港で開かれたアーカイブズ学の既卒者向け資格プログラムの成功を受けて、EASTICA は香港大学との協力関係を継続し、同様のプログラムを2008年および2009年に開催することを決定した。
- 4) EASTICA は2008年4月に韓国において年次セミナーを開催することを決定した。
- 5) EASTICA は第9回総会を中国の青島で開催することを決定した。
- 6) EASTICA は次の組織と個人を新メンバーとして受け入れることを歓迎する。
  - i) 中華人民共和国、広州市立档案館（カテゴリーC）
  - ii) 中華人民共和国、チベット自治区档案館（カテゴリーC）
  - iii) モンゴル、ウブス州立公文書館（カテゴリーC）
  - iv) モンゴル、市民文書中央公文書館（カテゴリーC）
  - v) ナラ・バレット（カテゴリーD）

- 7) ICA の第16回国際大会のテーマ「アーカイブズ、ガバナンス、発展：未来の社会を描く」への対応として、EASTICA はアーカイブズ関連機関の専門性を高めること、記録の適切な作成、アーカイブズの適切な収集、保存、公開を保証するためのアーカイブズ法制の制定および執行を促進することを決定する。
- 8) EASTICA は、専門職員の交流と協力を、EASTICA メンバー内だけでなく世界中の他のアーカイバル・コミュニティとも強化することを決定する。
- 9) EASTICA は、日本の国立公文書館と内閣府に対し、EASTICA 第8回総会を成功に導き、全参加者にすばらしい機会を提供していただいたことに深い感謝の意を表す。